

Course number		U-LAS03 10006 SB48									
Course title (and course title in English)		外国文献講読（法・英）I -E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)I-E1			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Law Professor,NISHIUCHI YASUHITO				
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Readings in Humanities and Social Sciences					
Language of instruction		Japanese		Old group		Group C		Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Seminar (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・First semester	
Days and periods		Mon.4		Target year		2nd year students or above		Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]											
本授業では、英語での専門書の講読を通じて、会話文等が中心であった高校英語とは異なる英語表現や英単語について学習し、その後の英語専門書購読の基礎知識をつけることを目標とする。その題材として、会社の意義について、経済学の見地から分析した一般向け概説書を購読する。											
[Course objectives]											
本授業で到達目標とするのは、英語専門書を読むための基礎的なテクニックを身につけることである。すなわち、会話文と異なる文章の傾向や、単語の調べ方を習得することを目的とする。											
[Course schedule and contents)]											
原則として、次の順序に従い、授業を行う。授業では、こちらから課題文についての翻訳内容について質問し、これについて受け答えをしてもらう。 授業の進行度合いは、各回三頁程度を予定しているものの、受け答えの内容に合わせた補足や、専門書に特有の単語・表現の説明を行う必要に合わせて、進度は前後する可能性がある。											
第一回 ガイダンス 授業で読む本の概要について述べて、この本と社会科学がどのように関係しているのかという話を行う。その際には、この授業で触れられない本の残部（第三章以下）について、何が書かれているのかについても、簡単に触れる。											
第二回 イントロダクション 課題文の第二章冒頭の部分について、日本語訳を行っていく。 その際には、第一章で書かれていた内容について、こちらから補足的な説明を行う。											
第三回～第六回 補完性 課題文第二章のその後の部分について、日本語訳を行っていく。 その際には、前提となる経済学の知識や、用語の意味、法学との関係について、こちらから補足的な説明を行う。											
第七回～第十二回 非凸性と非凹性 課題分第二章のその後の部分について、日本語訳を行っていく。 その際には、前提となる経済学の知識や、用語の意味、法学との関係について、こちらから補足的な説明を行う。											
-----Continue to 外国文献講読（法・英）I・E1(2)-----											

外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1(2)

第十三回～第十四回 タイト・カップリングとルース・カップリング

課題分第二章のその後の部分について、日本語訳を行っていく。

その際には、これまでのような補足的説明のほか、これまでに進んだ内容に合わせて、専門単語・表現の復習や、課題文が書かれた経済学と法学の背景事情をまとめ、専門英語と課題文それぞれについて理解を深める。

第十五回 試験日

授業中に訳した文章に即して、内容の理解を問う形の試験を行う。

第十六回 フィードバック

教室で学生から自習に基づいた質問を受ける。

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

定期試験と平常点を組み合わせて、最終評価を行う（平常点4割、試験6割）。

平常点としては、出席や遅刻の状況のほか、授業での受け答えの巧拙を評価の対象とする。

[Textbooks]

John Roberts 『The Modern Firm: Organizational Design for Performance and Growth』 ISBN:978-0198293750（授業前に、必要部分につきコピーを配布する予定であるので、購入の必要性はない。）

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

予習としては、教科書として指定した文献の内容について、事前に日本語訳を作成してくる必要がある。

[Other information (office hours, etc.)]

特になし。